

# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第168号

令和元年11月7日発行  
事務局：県立青少年センター  
科学部 科学支援課  
電話：046-222-6370

11月になりやっと涼しくなってきました。9月と10月は度重なる台風や大雨で、地域や学校の様々なイベントが中止や延期になったようです。11月は気温・降水量・日照時間ともに平年並みの見込みということで、やっと晴れる日が多くなりそうです。

大雨に被害から復旧が終わらない地域もありますが、子ども達には笑顔で様々な体験をしてもらいたいですね。

## 神奈川の自然の中で体験活動 in 川 & 谷戸山

\*\*\*\*\*  
梅雨入り前の5月には天神島の磯の生物観察を行いました。秋は市街地を流れる川と昔ながらの里山の雰囲気を残す谷戸山で体験活動を行いました。台風や大雨のはざまに無事予定通り実施できました。

### 自然観察会 ～鶴見川の魚たち～ 鶴見川流域センター及び周辺

9月7日（土）地域防災施設の鶴見川流域センターと越流堤周辺で、午前中は鶴見川の魚の採集と観察、午後は治水の学習と施設見学を行いました。講師には NPO 法人鶴見川流域ネットワーク、施設については京浜河川事務所の協力をいただき、自然環境と防災について学び、今年の台風・大雨の被害を子どもたち考えるための基礎的な知識を身につけることができました。

#### 多目的遊水地について学習

遊水地のしくみの DVD と講義



排水門の説明場面です

川へ移動中も学習



遊水地の機能の説明をうけながら

#### 川に入り生物採集

安全第一 ライフジャケット装着

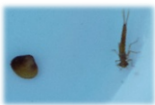


たも網で魚とり

#### 川の生物について学習



魚だけでなく  
ヌマエビや  
モクズガニも採  
集できました



学習した後は  
川に生き物を戻しました

#### 治水の講義とセンター内見学



画面は  
保水や遊水の  
機能の説明です



鶴見川流域の  
大きな地形図で  
全体像を実感し  
ました



館内の水族館で  
は、川の上流・  
中流・下流の生  
物の違いを学び  
ました

鶴見川は町田市を源流とし、横浜・川崎市を流れる一級河川です。1980年に総合治水対策の対象となり、緑地の保全や調整池の設置など河川の整備を進め、かつての暴れ川も1982年の台風18号を最後に大被害は発生していません。また、生物にもよい環境づくりが進みました。

# 自然観察会 ～どんぐりを学ぼう～ 県立座間谷戸山公園

10月19日(土)自然生態観察公園の県立座間谷戸山公園でどんぐりを採集して、分類や工作をしました。台風19号による大雨から1週間後で土壌も水を含んだ状態で、前夜からまた雨が降り、屋外活動中止の懸念もありましたが、朝に雨が上がり無事予定通り実施できました。

## どんぐりについて学習

どんぐりの講義（パークセンター内）



名前の由来、種類、生態などを予備学習してから採集に出発

## 園内を散策しながら、観察と採集

どんぐり拾い



色々な種類のどんぐりを見つけるのに夢中

自然観察（クルミの実を見上げて）



どんぐりだけでなく、他の植物や虫、沢蟹など、散策しながら観察

## どんぐりの分類と標本作成



見本を見ながら拾ったどんぐりの種類調べ

事前に用意した8種類のどんぐりで標本作成



どんぐりの盛り合わせが完成

## どんぐりで工作



どんぐりのトロロ

どんぐりのやじろべえ



どんぐりのコマ

園内にはクスギ・コナラ観察林、シラカシ観察林、スギ・ヒノキ観察林、昆虫の森、湿生生態園などがあります。座間市は水道水の86%を地下水で供給する水の豊かな地域です。園内の池や水田も湧水により潤され、夏には蛸も観察できます。

## おもしろ実験・科学工作指導者セミナー

地域などで子どもたちに実験や工作の楽しさを伝える指導者を養成

するために、9月中旬から10月末まで全6回（日曜コースと水曜コース）のセミナーを開講しました。



実験・工作だけではなく、演技やパントマイムなどを通して表現方法を身に付けたり、実際に実験ショーを開催する際の会場や道具の準備、安全へ配慮、事故対応なども学びました。

最終日は一人ずつ実験ショーを行って成果を発表しました。参加者全員が意欲的で、昼休みや終了後も質問や振り返りをしたり、家でショーの台本を作り、リハーサルをしてきたり、あまりの熱心さに講師側も気が引き締められました。



## 事務局から

事務局が厚木市に移転して1年が経過しました。これまで横浜市を拠点として神奈川県東部地域での活動がメインでしたが、西部地域の活動を広げ始めています。協議会員の中にも、これまであまり参加のなかった県央・県西のイベントに参加していただける方もおり、大変うれしい限りです。今後とも新たな科学体験活動の開拓・推進に、協議会の皆様のご協力をお願いいたします。（事務局：千葉、伴、熊切、山田）

